

ステロイド剤換算表

	成分名（商品名）	臨床的対応量(mg) (ソル・コステフ100mgに対する一例)	臨床的対応量 (mg)	力価比 (ヒドロコルチゾンを1としたときの力価)		血中消失 半減期 (時間)	生物学的 半減期 (時間)
				抗炎症作用	電解質作用		
短時間作用型	ヒドロコルチゾン（コートリル®、ソル・コステフ®）	ソル・コステフ®注：100mg コートリル®錠：100mg	20	1	1	1.2	8~12
中時間作用型	プレドニゾロン（プレドニン®、プレドニゾロン®、水溶性プレドニン®）	水溶性プレドニン®注：25mg プレドニン®錠：25mg	5	4	0.8	2.5	12~36
	メチルプレドニゾロン（メドロール®、ソル・メドロール®、デボ・メドロール）	ソル・メドロール®注：20mg メドロール®錠：20mg デボ・メドロール®水懸注：20mg	4	5	0.5	2.8	12~36
	トリアムシノロン（ケナコルトA®）	ケナコルト-A®皮内用関節腔内用水懸注：20mg ケナコルト-A®筋注用関節腔内用水懸注：20mg	4	5	0	3	24~48
長時間作用型	デキサメタゾン（デカドロン®、デキサート®）	デキサート®注：2.5~3.75mg (≒3.3mg 1A) デカドロン®錠：3.25~4.87mg (≒4mg) (内服は注射より3割増し)	0.5~0.75	25~30	0	3.5	36~54
	ベタメタゾン（リンデロン®）	リンデロン®注：2.5~3.75mg (≒2mg 1.5A または 4mg 0.75A) ベタメタゾン®錠：3.25~4.87mg (≒4mg) (内服は注射より3割増し)	0.5~0.75	25~30	0	3.5	36~54

- ・ステロイド間の換算につきましては**適応症、用法用量等が異なる場合がありますので、添付文書等でご確認下さい。**
- ・内服と注射の換算については**文献により解釈が異なります。**高い吸収率のため「用量調節不要」とするもの、コートリル®錠、デカドロン®錠、ベタメタゾン®錠においては同成分の注射剤に比して3割増しの用量が必要とするものがあります。生体内利用率はヒドロコルチゾン、プレドニゾロン、デキサメタゾン、ベタメタゾンの順に、95.9%, 82%, 78%, 72%とされていますため、**上記例では、デキサメタゾン、ベタメタゾンの内服を注射の3割増し**としております。
- ・当院には同成分でデボ・メドロール水懸注の採用がありますが、静注不可です。筋注の場合、1~2週間隔1回ですのでオーダー時はご注意下さい。ケナコルトも同様に静注不可です

参考文献：Goodman and Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics 14/e (2022). HOKUTOからの情報(2025)，鹿児島市医報 第48巻第3号 (通巻565号)(2009)、各種インタビューフォーム（デカドロン®錠、リンデロン®錠、プレドニン®錠、コートリル®錠）